

# 『グリーンカレッジ2019 沖縄・南城』体験レポート 熊本県 小学6年生 藤川 琢磨

ぼくは3月26日（火）から28日（金）までの3日間、「グリーンカレッジ2019 沖縄・南城」に参加しました。

出発の時、父とはなれる不安や、友達が出来るかドキドキする気持ちでいっぱいでした。ですが、みんなと合流するとすぐに仲良くなれました。

那覇空港に着いてまず思ったのは、「暑い」ということでした。上着を着ていきましたが、すぐTシャツ一枚になりました。

空港で福井組と合流して、バスでキャンプ場へ行きました。

着いてからのテント設営は大変でした。はじめて大型テントを設営して、みんな一番上まで身長が届かないので大変でした。

昼食はメインの大きなテントで全員で食べました。ぼくはうかれていたので、テント内の出っぴりで何度も頭を打ってしまいました。

そのあとシュノーケリングに行きました。風が強くて無人島に行けなかったのは残念だったけど、浅瀬でのシュノーケリングもとてもきれいで感動しました。

サンゴの間を泳ぐ時、当たってこわしてしまいそうでドキドキしながら泳ぎました。色とりどりの熱帯魚がたくさん泳いでいてきれいでした。カワハギを見つけて、母が以前作ってくれた煮付けがおいしかった事を思い出してしまいました。

夜のBBQでは、肉と野菜をほとんどぼくが焼いていました。いためる時に油を多めに使ったので、はじめ「食べたくない」と言った女の子もいたけど、いざ食べると「おいしい」と言っていました。

応募した理由の発表があり、「県外の友達を作って、有意義な春休みを過ごしたかったからです」と答えました。

夜はワクワクし過ぎて眠れませんでした。となりの女子のテントからは恋バナでもりあがっているのが聞こえてきました。

二日目はどうくつ探検で、楽しみでワクワクしながら準備をしました。

どうくつは暗くてせまくてこわかったです。よつんばいになったり、こしまで水につかってとても冷たかったです。

ライトでしょうにゆう石を照らすと金色にキラキラかがやいて、「金みたいだね」と話していたらガイドの人が本物だと教えてくれました。みんなで「ほしい！」「取れるかな？」と盛りあがりしました。

ヨナグニウマとのふれ合いでは、初めて見たヨナグニウマがとてもかわいかったです。日本のじゅん血種で小がらなので「ぼくの体重を支えられるかな…」と心配になりました。馬に乗るのはこわかったけど、いざ乗ると楽しかったです。

走るとおしりがボンボンゆれて馬のせ中からはなれるので少しこわかったです。

夜ご飯はみんなでカレーを作りました。いため方やこみ方にとってもこだわって作っていたら、みんなから『料理長』とよばれるようになっていました。

低学年の子達が野菜を切る係りだったので、形がいびつでいためるのがむずかしかったけど、工夫していためました。

ドレッシングも三種類作ってみんなが選べるようにしました。

三日目の朝は「帰りたくないな。ずっとここにいたい。」と考えていました。ホームシックになったりはしませんでした。

テントを片付ける時はすごく名残おしかったです。風が強くてむずかしかったけど、立てる時よりちょっと楽に感じました。

お昼のハンバーガーはみんなで輪になって食べました。キャンプの期間中にみんなから歌がうまいと言われていたので、そこで『lemon』を歌うことになり、最後はみんなで合唱しました。

帰りの飛行機でとなりが特に仲良くなったはるき君だったので、おかしを食べながらたくさん話をしても楽しかったです。羽田空港が近づいてくると、また帰りたくない気持ちが強くなりました。

閉会式ではさびしい気持ちが強かったけど、すべての出来事が本当に楽しかったので泣いたりしませんでした。

マイペースなほくだけれど、少し協調性が身についたような気がしました。

初めての体験やたくさんの友達ができて、一生の宝物になるキャンプでした。

このキャンプに参加させてくれたみなさん、本当にありがとうございました。

